

平成 24 年度

朝日町教育委員会事務事業点検・評価報告書
(平成 23 年度分)

朝日町教育委員会

目 次

I. 朝日町教育委員会事務事業の点検・評価について	1
1. 制度の概要及び目的	1
2. 点検・評価の対象事業	1
3. 点検・評価の方法	1
4. 学識経験者の知見の活用	1
II. 平成 23 年度教育委員会活動状況	2
1. 教育委員の選任状況	2
2. 教育委員会会議開催状況	2
3. 教育委員学校訪問	5
4. 各種会議、大会、研修会等への参加	5
III. 外部評価委員の意見	7
1. 教育委員会の活動についての意見	7
2. 事務事業の点検・評価についての意見	7
IV. 点検・評価対象事業一覧	8
V. 点検評価の結果（事務事業点検・評価調書）	9

整理番号

1

 ～

36

I. 朝日町教育委員会事務事業の点検・評価について

1. 制度の概要及び目的

平成 19 年 6 月に、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が一部改正（平成 20 年 4 月 1 日施行）され、教育委員会は毎年その権限に属する事務の管理及び執行状況について、自ら点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに公表しなければならないこととなりました。また、この点検・評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとされています。

この法律の改正を受け、朝日町教育委員会では、効率的な教育行政の推進に資するとともに、町民に対する説明責任を果たすため、平成 23 年度に行った事務事業について、3 名の外部評価委員（朝日町教育事務評価委員）の方々の意見をいただきながら点検・評価を実施するとともに、その結果を報告書としてまとめました。

【参考】地方教育行政の組織及び運営に関する法律

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第 27 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 3 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2. 点検・評価の対象事業

点検・評価は、平成 23 年度に実施した朝日町教育委員会所管の 39 事務事業のうち、平成 22 年度繰越明許 3 事業を除く、36 事務事業を対象に実施しており、当該年度分としては 100% となっています。

3. 点検・評価の方法

各事業について、「必要性」及び「効率性・有効性」の観点から分析評価したうえで、「事務事業点検・評価調書」としてまとめています。

4. 学識経験者の知見の活用

教育委員会が行った点検・評価についてその客観性を確保するため、3 名の学識経験者を外部評価委員（朝日町教育事務評価委員）として委嘱し、点検・評価の内容についてご意見をいただきました。

朝日町教育事務評価委員

氏 名	役 職 名 等
真 木 吉 雄	山形大学大学院教育実践研究科 教授
多 田 秀 人	有識者（元公立小学校長）
西 澤 敬 子	有識者（ボランティア活動家）

Ⅱ. 平成 23 年度教育委員会活動状況

1. 教育委員の選任状況

職	氏 名	職 業	備 考
委員長	小林 道和		朝日町大字四ノ沢 913
委員(職務代理者)	柴田 泰子	会社役員	朝日町大字四ノ沢 186-2
委 員	堀 浩一	会社員	朝日町大字中沢 306
委 員	児珠 孝童	僧侶	朝日町大字立木 183
教育長	安藤 昭郎		朝日町大字宮宿 807-1

2. 教育委員会会議開催状況

開催日		議案並びに主な報告・協議案件
平成 23 年 4 月 1 日	槌案	議第 5 号 朝日町教育委員の議席の指定について
	協議	1. 平成 23 年度朝日町立小・中学校入学式への出席について
平成 23 年 4 月 27 日	議案	議第 6 号 朝日町立西部公民館運営審議会委員の委嘱について
	報告	1. 教育長委任事項報告(日程的な事項・当面の日程) 2. 報告事項 ①平成 23 年度小中学校職員及び事務局職員事務分担について ②平成 23 年度朝日町校長会活動方針及び研修課題等について ③朝日町教育研究所運営方針について ④平成 23 年度教育関係予算及び平成 22 年度繰越明許について ⑤朝日町教育振興計画について
	協議	1. 学校訪問、あさひ保育園訪問について 2. 教育委員研修会について
平成 23 年 5 月 25 日	議案	議第 7 号 平成 23 年度朝日町就学指導委員会委員の委嘱について
	報告	1. 教育長委任事項報告 (日程的な事項・当面の日程) 2. 報告事項 ①平成 23 年度朝日町保小連携推進アドバイザー派遣事業について ②西村山中学校駅伝競走大会結果について ③N R T 検査結果について
平成 23 年 6 月 29 日	議案	議第 8 号 平成 23 年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について
	報告	1. 教育長委任事項報告(日程的な事項・当面の事項) 2. 報告事項 ①平成 23 年度西村山中学校総合体育大会成績について ②平成 23 年度朝日中学校 2 年生職場体験受け入れ状況について ③平成 23 年度N e wアクション応援事業について ④モンテディオ山形市町村応援デー及び応援隊について ⑤朝日郷土史研究会の設立について ⑥町民プールオープン
	協議	1. 教育委員研修について

平成 23 年 7 月 20 日	議案	議第 9 号 平成 24 年度使用教科用図書採択
	報告	1. 教育長委任事項(日程的な事項・当面の事項) 2. 報告事項 ①学力検査（N R T）各校の分析について ②各種大会結果について ③西村山市町教育委員会連絡協議会総会及び県市町村教育委員大会等について
平成 23 年 8 月 24 日	議案	議第 10 号 平成 23 年度朝日町教育委員会事務事業点検・評価報告書について
	報告	1. 教育長委任事項（日程的な事項・当面の事項） 2. 報告事項 ①平成 23 年度朝日町就学指導委員会事業計画について ②各種大会結果について
	協議	1. 各小学校運動会への出席について
平成 23 年 9 月 28 日	議案	議第 11 号 平成 2 3 年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について
	報告	1. 教育長委任事項(日程的な事項・当面の日程) 2. 報告事項 ①平成 23 年度第 4 回補正予算について ②寄付受領について ③西村山中学校新人総合体育大会成績について ④第 28 回アップル町民駅伝競走大会について ⑤平成 23 年度 N R T 学力検査の実態について ⑥朝日町の児童生徒の体位・体力の状況について
	協議	1. 西五百川小学校屋内運動場の整備について 2. 「教育の日あさひ」制定について 3. 朝日町教育振興計画実施計画について
平成 23 年 10 月 1 日	議案	議第 12 号 朝日町教育委員会教育長の任命について 議第 13 号 朝日町教育委員会委員の議席の指定について
	選出	1. 朝日町教育委員会委員長の選出について 2. 朝日町教育委員会委員長職務代理者の選出について
平成 23 年 10 月 26 日	報告	1. 教育長委任事項（日程的な事項・当面の日程） 2. 報告事項 ①アップル駅伝競走大会結果について ②平成 23 年度山形県中学校新人総合体育大会県南大会（南ブロック大会）の成績について
	協議	1. 「教育の日あさひ」制定について 2. 朝日町教育振興計画実施計画について
平成 23 年 11 月 24 日	議案	議第 14 号 朝日町就学指導委員会規則の一部を改正する規則の制定について 議第 15 号 朝日町立小中学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例施行規則の一部を改正する規則の制定について 議第 16 号 朝日町立小中学校管理運営規則の一部を改正する規則の制定について 議第 17 号 「あさひ教育の日」推進委員会設置要綱の制定について

	報告	1. 教育長委任事項の報告（日程的な事項・当面の日程） 2. 報告事項 ①朝日町特別支援学校就学支援補助金交付規程の一部を改正する規程の改正について ②朝日町PTA連合会からの要望書について ③寄付受領について ④平成23年度自治功労者（教育功労）について ⑤第58回西村山地区駅伝競走大会の結果について ⑥あさひまち図書館まつり2011の開催について ⑦町民体育館耐震診断結果について
	協議	1. 朝日町教育振興計画実施計画について
平成23年 12月22日	報告	1. 教育長委任事項報告（日程的な事項・当面の日程） 2. 報告事項 ①平成24年度町実施計画策定基本方針について ②平成24年度朝日町学校教育の方針 ③朝日町PTA連合会からの要望書の回答について ④西五百川小学校屋内運動場の耐震診断結果及び改築計画について ⑤平成23年度第6次補正予算について ⑥平成23年度朝日町小学校スキー記録会について ⑦ホール事業「津軽三味線柴田三兄妹ライブ」について
平成24年 1月25日	議案	議第1号 平成24年度特別支援教育等が必要な児童生徒の決定について
	報告	1. 教育長委任事項報告(日程的な事項・当面の日程) 2. 報告事項 ①第1回「あさひ教育の日」推進委員会の状況について ②西五百川小学校屋内運動場の基本構想案について
平成24年 2月22日	議案	議第2号 朝日町体育指導委員規則（昭和61年教育委員会規則第3号）の一部を改正する規則の制定について 議第3号 朝日町教育委員会教育長に対する事務委任規則（昭和51年教育委員会規則第4号）の一部を改正する規則の制定について 議第4号 朝日町教育委員会事務局処務規則（昭和44年教育委員会規則第1号）の一部を改正する規則の制定について
	報告	1. 教育長委任事項報告(日程的な事項・当面の日程) 2. 報告事項 ①平成23年度朝日町一般会計第9回補正予算について ②平成24年度朝日町一般会計当初予算について ③宮宿小学校屋内運動場関係について ④西五百川小学校屋内運動場改築関係について ⑤平成24年度女性文化教室について
	協議	1. 朝日町立小中学校の設置及び管理に関する条例（昭和58年条例第9号）の一部を改正する条例の制定について 2. 朝日町立公民館等の設置及び管理に関する条例（昭和51年条例第48号）の一部を改正する条例の制定について 3. あさひ教育の日を定める規則の制定について 4. 朝日町学力向上・特色ある学校づくり事業補助金交付要綱の制定について

		5. 朝日町立小中学校平成 23 年度卒業式及び平成 24 年度入学式への参加について
平成 24 年 3 月 11 日	議案	議第 5 号 平成 24 年度朝日町立小・中学校教職員の人事異動内申について
平成 24 年 3 月 21 日	議案	議第 6 号 あさひ教育の日を定める規則の制定について 議第 7 号 平成 24 年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について 議第 8 号 平成 24 年度朝日町立小・中学校の校医等の委嘱について 議第 9 号 朝日町スポーツ推進委員の委嘱について
	報告	1. 教育長委任事項報告(日程的な事項・当面の日程) 2. 報告事項 ①平成 24 年度学校教員の異動について ②平成 23 年度朝日中学校卒業生進路先について ③平成 24 年度学級編成について (平成 23 年 3 月 19 日現在)

3. 教育委員学校訪問

年 月 日	実 施 校	内 容
平成 23 年 5 月 30 日	朝日町立朝日中学校	①学校経営概要説明 ②授業参観並びに校舎等巡視 ③懇談 ④学校経営へのアドバイス
平成 23 年 6 月 22 日	朝日町立西五百川小学校	
平成 23 年 6 月 14 日	朝日町立宮宿小学校	
平成 23 年 6 月 30 日	朝日町立大谷小学校	

4. 各種会議、大会、研修会等への参加

年 月 日	会議、大会等名	場 所	出 席 者
平成 23 年 4 月 1 日	町辞令交付式	開発センター	委員長
平成 23 年 4 月 1 日	朝日町教職員辞令交付式	創遊館	全員
平成 23 年 4 月 7 日	各小中学校入学式	各小中学校	全員
平成 23 年 5 月 12 日	宮宿小屋内運動場建設地鎮祭	宮宿小学校	全員
平成 23 年 5 月 13 日	教育委員歓迎会		全員
平成 23 年 5 月 18 日	小学校陸上競技記録会	西小グラウンド	全員
平成 23 年 5 月 20 日	校長・教頭歓送迎会		全員
平成 23 年 5 月 23 日	第 1 回教科書採択協議会	寒河江市	委員長
平成 23 年 6 月 11 日	西五百川小学校相撲大会	西小校庭	児珠委員
平成 23 年 7 月 8 日	小学校水泳競技記録会	町民プール	全員
平成 23 年 7 月 11 日	第 2 回教科書採択協議会	寒河江市	委員長
平成 23 年 7 月 20 日	保育園訪問	あさひ保育園	全員
平成 23 年 7 月 26 日	教育研究所教育講演会	創遊館	
平成 23 年 7 月 26 日	青少年健全育成町民大会	創遊館	
平成 23 年 7 月 27 日	西村山教育懇談会	西川町	全員
平成 23 年 8 月 9 日 ～10 日	山形県市町村教育委員大会 教育委員研修	酒田市	全員

年 月 日	会議、大会等名	場 所	出 席 者
平成 23 年 8 月 14 日	成人式	創遊館	全員
平成 23 年 9 月 3 日 ・ 4 日	各小学校運動会	各小学校	割り当て
平成 23 年 10 月 9 日	アップル駅伝競走大会	町内一円	全員
平成 23 年 11 月 3 日	芸術文化祭	創遊館	全員
平成 23 年 11 月 16 日	西小公開授業研究会	西五百川小学校	全員
平成 23 年 11 月 24 日	小中高等学校保健研究発表会	寒河江市	委員長
平成 23 年 12 月 4 日	女性まつり	創遊館	
平成 23 年 12 月 23 日	朝日自然観スキー場開き	自然観スキー場	委員長
平成 24 年 1 月 4 日	町辞令交付式	開発センター	委員長
平成 24 年 2 月 2 日	小学校スキー記録会	自然観スキー場	全員
平成 24 年 2 月 26 日	宮宿小屋内運動場落成式	宮宿小学校	全員
平成 24 年 2 月 26 日	生涯学習推進大会	創遊館	全員
平成 24 年 3 月 16 日	朝日中学校卒業式	朝日中学校	全員
平成 24 年 3 月 18 日	各小学校卒業式	各小学校	割り当て
平成 24 年 3 月 30 日	町退職者辞令交付式	開発センター	委員長

IV. 外部評価委員の意見

1. 教育委員会の活動についての意見

毎月の定例会や臨時会の開催、研修会への参加、全学校の訪問、学校事業や生涯学習事業への参加等、日頃の活動に敬意を表したい。今後の活動の中で、朝日町教育振興計画の推進、本事務事業点検・評価、事務事業の計画や執行について、教育委員として積極的な関わりを期待する。

2. 事務事業の点検・評価についての意見

概ね適切な評価をされているが、次の項目について検討をいただき、さらに創意工夫を重ね事業推進にあたられたい。

(1) 総括

- ① 例年と同様、全事務事業を対象としていることから、項目ごとに経年比較がしやすいものとなっている。
- ② 今回、今後の方向性についての区分を見直し文章表記としたことによって、自己評価作業の効率化が図られたものと思われる。しかし、目的と評価の整合性や評価の不明瞭性、課題と改善についての関連性が不明瞭になってしまった箇所が多少見受けられる。

ア 事業の目的の標記について

事務事業の評価であることを考慮すれば、「～のために～を行う」という視点で目的を定めるべきである。

イ 「事業の目的」と「事業評価と課題」の整合性について

目的に対しての評価であるから、目的を「～を図る」とすれば、評価は「図られた」若しくは「図られなかった」のいずれかになる。

ウ 「課題」と「改善と方向性」の関連性について

評価結果から課題が生じる。一般には低く評価された場合、課題が示されることになる。課題の解決に向けて、どのような手立てをとるかを示すのが「改善と方向性」である。この関連性を明確にし、具体性を持って述べられるようになればよい。

- ③ この評価をみると、費用対効果と言うより「労力対効果」という意味でどうなのかとも思う。教育委員会事務局は喫緊の課題が山積する中、相当な労力を費やすことになる。労力と時間をあまり割かず、効率的にこの評価に取り組み事業改善に生かすにはどうあればよいか、難しい問題である。
- ④ 点検・評価調書の「事業の評価」が「事業の評価と課題」に改められた。全て文章での表記となり、自己評価が一目で確認できなくなった。一目で自己評価が確認できるよう評価報告書の検討をされたい。
- ⑤ 平成 23 年度より朝日町教育振興計画に基づいた事業が展開されているが、施策の体系に挙げた施策名に近い事業名になることを望む。

(2) 生涯学習関係

- ① 中央公民館と中部公民館事業の明記が行われ、わかりやすくなった。
- ② 婦人会解散後の女性組織についての調査を行い、あらたな支援を行うとあるが、どのような支援が必要とされているのか把握し、各集落の組織が自主的に運営できるような支援づくりを目指していただきたい。

(3) 学校教育関係

- ① 全国では登下校時に重大な交通事故が発生している。遠距離通学でスクールバスを利用している子どもたちも多くなっており、運転手の安全教育の徹底とともに、通学路の安全確保を最優先に行っていただきたい。

V. 点検・評価対象事業一覧

事務事業名	担当課・係	整理 番号
教育委員会費	教育文化課学校教育係	1
教育委員会事務局総務費	教育文化課学校教育係	2
教育研究所費	教育文化課学校教育係	3
小学校管理費	教育文化課学校教育係	4
中学校管理費	教育文化課学校教育係	5
小学校保健衛生費	教育文化課学校教育係	6
中学校保健衛生費	教育文化課学校教育係	7
小学校遠距離通学費	教育文化課学校教育係	8
中学校スクールバス運行費	教育文化課学校教育係	9
小学校スクールバス購入費	教育文化課学校教育係	10
小学校整備事業費	教育文化課学校教育係	11
中学校整備事業費	教育文化課学校教育係	12
小学校建設事業費	教育文化課学校教育係	13
小学校教育振興費	教育文化課学校教育係	14
中学校教育振興費	教育文化課学校教育係	15
英語指導助手招致事業	教育文化課学校教育係	16
小学校給食費	教育文化課学校教育係	17
中学校給食費	教育文化課学校教育係	18
社会教育総務費	教育文化課生涯学習係	19
文化財保護費	教育文化課生涯学習係	20
町史編さん費	教育文化課生涯学習係	21
青少年健全育成推進事業費	教育文化課生涯学習係	22
自治公民館整備事業費	教育文化課生涯学習係	23
中央公民館事業費	教育文化課生涯学習係	24
西部公民館事業費	教育文化課西部公民館	25
北部公民館事業費	教育文化課北部公民館	26
創遊館費	教育文化課生涯学習係	27
西部公民館管理費	教育文化課西部公民館	28
北部公民館管理費	教育文化課北部公民館	29
放課後子どもプラン事業費	教育文化課生涯学習係	30
協働のまちづくり推進プロジェクト	教育文化課生涯学習係	31
図書館費	教育文化課生涯学習係	32
文化振興費	教育文化課生涯学習係	33
保健体育総務費	教育文化課生涯学習係	34
体育施設管理費	教育文化課生涯学習係	35
スポーツ振興基金運営費	教育文化課生涯学習係	36

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	教育委員会費
-------	--------

予算 科目	款	10	教育費
	項	01	教育総務費
	目	01	教育委員会費

2. 事業の目的

事業の目的	教育委員会定例会を原則月1回開催し、学校教育、社会教育の課題を協議、調整、意思統一を図る。 学校訪問を通して、常に教育の現場を把握し適切な指導助言を行う。
-------	--

3. 事業の実施状況

- ・教育委員 5人
- ・定例教育委員会 12回開催、臨時会 3回開催、附議事件 21件
- ・西村山市町教委連絡協議会総会・研修会（西川町）7/27
- ・山形県市町村教育委員大会（酒田市）8/9
- ・教育委員視察研修 酒田市松山町 8/9～10
- ・各校学校訪問 西小 6/22、宮宿小 6/14、大谷小 6/30、朝日中 5/30
- ・あさひ保育園訪問 7/20
- ・西五百川小学校公開授業研究会 11/16
- ・各種事業への参加（教職員辞令交付式、入学式、小体連陸上・水泳・スキー記録会、小学校運動会、生涯学習大会、卒業式 他）

4. 予算額・決算額

（単位：円）

予算額	1,341,000	決算額	1,134,515	差引額	206,485
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価と課題

教育委員会定例会資料の事前配布を行い、効率的な会議が行われた。学校訪問は全小中学校で実施した。
教育委員の町独自研修は、酒田市の松山歴史資料館や里仁館での生涯学習事業の視察研修の実施にとどまった。

6. 事業の改善と方向性

教育委員の更なる資質向上のため、定例会等を利用して町独自研修を計画したい。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	教育委員会事務局総務費
-------	-------------

予算 科目	款	10	教育費
	項	01	教育総務費
	目	02	事務局費

2. 事業の目的

事業の目的	適切な学校運営に必要な各種事務を行う。 第五次朝日町総合発展計画及び朝日町教育振興計画に基づいた事務の執行
-------	--

3. 事業の実施状況

- ・朝日町教育振興計画の実施計画の策定と目標値の確認（7月・12月アンケート調査）
- ・教育事務事業点検・評価（外部評価委員3名） 評価委員会3回開催、10月一般公開
- ・第13回小中学生ひめさゆり俳句大会（525名、1,095句）金賞を芸文祭で表彰
- ・平成24年度入学児童（対象者49人）を対象に就学時健診（9/29）を実施
内科健診、眼科、耳鼻科、 歯科、聴力、視力、知能検査
- ・就学指導委員会を3回開催
- ・県費教職員健康診断（全員受診）
- ・教職員先進地視察（5/26～27 秋田県教育事情視察、9/16 七ヶ浜町授業研、9/27 秋田県山内小授業研）
- ・生活キャンペーン・・・のぼり旗の掲示、青少年健全育成町民大会を共催
- ・スクールガードリーダー1名を配置し、パトロールを実施。（年間45日）
- ・特別支援学校通学者への支援（生活支援経費として） 高等部2人

4. 予算額・決算額

（単位：円）

予算額	4,886,000	決算額	4,125,471	差引額	760,529
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価と課題

朝日町教育振興計画が単なる計画にならないように、その実施計画の作成と目標値の管理を行っている。目標管理は数値目標を年度毎に定め、関係機関に対して公表しながら目標達成を促している。

通学時の交通事故や不審者の声がけ、災害など子どもたちを取り巻く環境には様々な危険が潜在している。的確な対応をするため、危機管理マニュアルの作成が求められている。

子どもの読書活動の推進に関する法律を受け、朝日町子ども読書活動推進計画の策定が求められている。

県の保小連携アドバイザー事業を活用し、保小連携の枠組みができた。

就学時健診の日程を、2日間から1日に短縮したことで、保護者の負担が減り喜ばれた。

6. 事業の改善と方向性

目標値の管理は施策の大きな目安となることから、継続して行い関係機関に周知する。

危機管理マニュアルについて、県のマニュアルを参考にしながら、朝日町にあったマニュアルを平成24年度中に作成する。

子ども読書活動推進計画の策定は、0歳児から18歳までを対象としていることから、学校、図書館、健康福祉課、教育文化課の担当者により組織し、平成24年中に策定する。

保小連携については、学校、保育園と協議し、平成24年度は2回の研修会を開催予定。

就学時健診日程は1日とし、学校医の検診時間や児童の移動の時間を考慮した体制づくりを行う。

就学時健診費用について、平成24年度より医師報酬支払いの的確な管理を行うため、予算を小学校保健衛生費に移動した。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	教育研究所費
-------	--------

予算 科目	款	10	教育費
	項	01	教育総務費
	目	03	教育研究所費

2. 事業の目的

事業の目的	教職員の指導力向上を図る
-------	--------------

3. 事業の実施状況

- ・教職員の各部会における研修、研究、全体研修
 - 課題研究部会（郷土学習部会 17 人、特別支援研究部会 19 人、情報教育部会 17 人）を 2 回開催
 - 校務研究部会（養護教諭部会 5 人 2 回開催、事務職員部会 5 人 4 回開催）
 - 学力向上委員会・教務主任会 5 人
 - 理科センター 中学校理科教諭・小学校理科担当 7 月研修会
 - 子育て生徒指導部会 22 人 3 回開催
 - 英語研究部会 6 人 2 回開催。A L T による朝日中授業参観・宮宿小出前授業も実施
 - 教育講演会 7/26「朝日町教育振興計画について」
 - 町めぐり 本年度より実施。赴任 1・2 年目の教職員を対象。参加者 19 人
- ・学習指導研究委員会 西五百川小学校 2 年次 委託費 15 万円、11/16 公開授業研を実施
- ・N R T 検査（4 月）、知能検査（4 月）、C R T 検査（1 月）を実施。検査実施後、学力向上委員会を開催し分析。
- ・N R T 検査、知能検査（4 月）、C R T 検査（1 月）を本年度よりすべて公費負担で実施。N R T 検査結果を学力向上委員会で分析。
- ・教育研究所報を発刊（事業の経過を掲載）

4. 予算額・決算額

（単位：円）

予算額	1,518,000	決算額	1,301,175	差引額	216,825
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価と課題

教育研究所の研究機関としての意義は大きいものがある。学社連携を含めて今後も継続していくことが重要である。

特別支援教育の充実のため、平成 23 年度より課題研究部会の中に特別支援研究部会を立ち上げている。課題研究部会は、今後も時代に合った形で取り組んでいく必要がある。

N R T 検査結果は、教科平均偏差値が全国標準を上回った。朝日町教育振興計画数値目標には届かなかった教科が一部見られた。

6. 事業の改善と方向性

子どもたちの学力向上・健全育成のため、教育の抱えている課題に対して適切な研究をしていく必要がある。

N R T 検査結果の学力向上委員会における分析をもとに、長所を伸ばし短所を改善する指導力の向上を図っていく必要がある。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	小学校管理費
-------	--------

予算 科目	款	10	教育費
	項	02	小学校費
	目	01	学校管理費

2. 事業の目的

事業の目的	児童の安全確保と適切な学校運営のため適切な維持管理を行う
-------	------------------------------

3. 事業の実施状況

- ・ 建築後の経過年数により老朽化が進んでいる施設があるものの、法令等に基づく各種保守点検の実施や日常点検の充実を図っている。
- ・ 光熱水費、通信運搬費について、月別状況を各校に配布し節電、節水等を指導している。
- ・ リフト点検、ボイラー点検、プール保守点検実施
- ・ 廃校（旧立木小、旧送橋小、旧水本小、旧上郷小、旧大沼分校）の管理
維持費として、電気料 1,385,756 円、水道料 311,980 円、電話料 60,299 円

4. 予算額・決算額

（単位：円）

予算額	21,392,000	決算額	19,432,009	差引額	1,959,991
-----	------------	-----	------------	-----	-----------

5. 事業の評価と課題

各種点検を実施し、適正な管理ができた。
東日本大震災に伴う電力不足への対応として、各学校に節電を呼びかけた。

6. 事業の改善と方向性

引き続き、安全・安心で快適な施設となるよう管理を行う。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	中学校管理費
-------	--------

予算 科目	款	10	教育費
	項	03	中学校費
	目	01	学校管理費

2. 事業の目的

事業の目的	生徒の安全確保と適切な学校運営のため適切な維持管理を行う
-------	------------------------------

3. 事業の実施状況

- ・ 建築後の経過年数により老朽化が進んでいるものの法令等に基づく各種保守点検の実施や日常点検の充実を図った。
- ・ 光熱水費、通信運搬費について、月別状況を配布し節電、節水を指導した。
- ・ 臨時職員（事務補助）を配置

4. 予算額・決算額

（単位：円）

予算額	9,704,000	決算額	8,638,135	差引額	1,065,865
-----	-----------	-----	-----------	-----	-----------

5. 事業の評価と課題

各種点検を実施し、適正な管理ができた。
東日本大震災に伴う電力不足への対応として、各学校に節電を呼びかけた。

6. 事業の改善と方向性

引き続き、安全・安心で快適な施設となるよう管理を行う。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	小学校保健衛生費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	02	小学校費
	目	01	学校管理費

2. 事業の目的

事業の目的	病疾患の早期発見や子ども自身の健康維持に対する意識を高めることにより、子ども達が元気に学校生活を送れるようにする。
-------	---

3. 事業の実施状況

- ・学校医 5 人、薬剤師 2 人を委嘱し、各種検診(内科、歯科、耳鼻科、眼科)の実施した。
- ・山形県成人病検査センターへ各種検査(ぎょう虫、尿、貧血、心電図)を委託した。
- ・学校での集団検診を実施している。
欠席者に対しては町内の学校医は個別健診、寒河江市の学校医は教育委員会で引率し実施した。
- ・児童の日常における健康管理や安全については、校医の指導の下、養護教諭及び各学校保健委員会を中心に啓発指導を行った。
- ・学校保健委員会の開催 西小 7/6、宮小 7/14、大谷小 7/12

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	2,588,000	決算額	2,374,656	差引額	213,344
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価と課題

集団検診未受験者に対して、教育委員会で引率したことにより早期に全員の検診が終了できた。

6. 事業の改善と方向性

引き続き学校保健安全法に基づき検診を実施する。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	中学校保健衛生費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	03	中学校費
	目	01	学校管理費

2. 事業の目的

事業の目的	病疾患の早期発見や生徒自身の健康維持に対する意識を高めることにより、生徒達が元気に学校生活を送れるようにする。
-------	---

3. 事業の実施状況

- ・学校医 4 人、薬剤師 1 人を委嘱し、各種検診(内科、歯科、耳鼻科、眼科)の実施した。
- ・山形県成人病検査センターへ各種検査(尿、貧血、心電図)を委託した。
- ・学校での集団検診を実施している。
欠席者に対しては町内の学校医は個別健診、寒河江市の学校医は教育委員会で引率し実施した。
- ・生徒の日常における健康管理や安全については、校医の指導の下、養護教諭及び学校保健委員会を中心に啓発指導を行った。
- ・学校保健委員会の開催 7/21

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	1,492,000	決算額	1,303,526	差引額	188,474
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価と課題

集団検診未受験者に対して、教育委員会で引率したことにより早期に全員の検診が終了できた。

6. 事業の改善と方向性

引き続き学校保健安全法に基づき検診を実施する。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	小学校遠距離通学費
-------	-----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	02	小学校費
	目	01	学校管理費

2. 事業の目的

事業の目的	学校の統合にともない遠距離通学児童に年間を通した安全な通学を確保する
-------	------------------------------------

3. 事業の実施状況

遠距離から通学している児童数 79 人 (24.1%) ・スクールバス 3 台運行 - 三中線 (13 人) 臨時職員 - 上郷線 (14 人) 業者委託 - 和合線 (33 人、内 19 人は往路は中学校スクールバス) 業者委託 ・スクールタクシー運行 (業者委託) - 西小ー立木 (復路のみ、往路は中学校スクールバス) 8 人 - 宮小ー雪谷 (往復) 1 人、水本 (往復) 6 人 - 大谷小ー川通 (往復) 3 人、大沼 (復路のみ、往路は中学校スクールバス) 1 人 ・運行については、運転手と打合せを随時行い、安全運行に努めている。 ・車両の老朽化に伴い安全運行維持の面から部品等の交換など修繕には万全を期している。
--

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	13,986,000	決算額	10,644,667	差引額	3,341,333
-----	------------	-----	------------	-----	-----------

5. 事業の評価と課題

家庭、学校、教育委員会の連携のものと的確な運行を実施した。 スクールバスの安全運行のため、定期点検を適切に行っている。 遠距離通学児童の人数が毎年増減しているため、運行体制の編成に苦慮している。
--

6. 事業の改善と方向性

安全運行のため、スクールバスの定期点検や更新を適切に行う。 臨時職員に対して、県等が主催する研修への参加や、警察等による安全教育を行う。 就学前の集落毎の児童を的確に把握し、中期的な運行計画を作る。
--

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	中学校スクールバス運行費
-------	--------------

予算 科目	款	10	教育費
	項	03	中学校費
	目	01	学校管理費

2. 事業の目的

事業の目的	遠距離通学生徒に年間を通した安全な通学を確保する
-------	--------------------------

3. 事業の実施状況

- ・遠距離から通学している生徒 107 人 (52.7%)
- ・スクールバス 3 台運行
 - 立木線 (19 人、冬季間は雪谷より 1 人) 臨時職員
 - 太郎線 (20 人、冬季間は能中・川通より 5 人) 臨時職員
 - 大沼線 (3 人) 臨時職員
 - 上郷線 (14 人) 業者委託 (小学生と同乗)
- ・山交バス (北部地区 43 人、大隅地区 2 人は冬季間のみ)
- ・運行については、運転手と打合せを随時行い、安全運行に努めている。
- ・車両の老朽化に伴い安全運行維持の面から部品等の交換など修繕には万全を期している。

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	24,988,000	決算額	14,582,413	差引額	10,405,587
-----	------------	-----	------------	-----	------------

5. 事業の評価と課題

家庭、学校、教育委員会の連携のもとの確な運行を実施した。
 スクールバスの安全運行のため、定期点検を適切に行っている。
 遠距離通学生徒の人数が毎年増減しているため、運行体制の編成に苦慮している。

6. 事業の改善と方向性

安全運行のため、スクールバスの定期点検や更新を適切に行う。
 臨時職員に対して、県等が主催する研修への参加や、警察等による安全教育を行う。
 生徒数の推移により、長期的な運行計画を作る。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	小学校スクールバス購入費
-------	--------------

予算 科目	款	10	教育費
	項	02	小学校費
	目	01	学校管理費

2. 事業の目的

事業の目的	遠距離通学生徒に年間を通した安全な通学を確保する。
-------	---------------------------

3. 事業の実施状況

ポプラ号（26人乗り）：西五百川小学校へ配置
・8/26入札を実施 1/23納車
契約業者 太平工業(株)寒河江営業所 4,757千円

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	4,985,000	決算額	4,951,130	差引額	33,870
-----	-----------	-----	-----------	-----	--------

5. 事業の評価と課題

予定通り購入した。

6. 事業の改善と方向性

本事務事業はスクールバスを購入する年度だけ出てくるものであり、今後は前述の小学校遠距離通学費や中学校スクールバス運行費の中で対応し、事務事業を平成24年度から廃止する。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	小学校整備事業費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	02	小学校費
	目	01	学校管理費

2. 事業の目的

事業の目的	安全で安心して授業が受けられる施設の整備
-------	----------------------

3. 事業の実施状況

修繕

西小：プールろ過機修繕 174,300 円、ポプラの木伐採 313,950 円、校舎ガラス修理 34,650 円
 宮宿小：プールろ過機修繕 1,711,500 円、昇降口放送設備修理 11,750 円、厨房コンセント工事 27,300 円、排水管バルブ修理 66,150 円、調理室トイレ電気配線 22,680 円
 大谷小：プールろ過機修繕 28,350 円、アプローチタイル修理 157,500 円、煙感知器修理 35,154 円、体育館ドア修理 47,250 円、職員室照明器具修理 27,300 円、ろ過装置液管修理 69,615 円
 西小・旧送橋小、旧水本小・旧立木小：消防設備修繕 220,600 円

委託

小中学校エアコン設備工事設計業務（㈱秦・伊藤設計）1,470,000 円
 西小屋内運動場耐震診断業務（㈱秦・伊藤設計）3,423,000 円
 小中学校特殊建築物定期報告業務（村山一級建築士事務所）220,500 円

工事

西小校長室・職員室、宮宿小校長室・職員室エアコン設置（東北電化工業㈱）2,568,300 円
 宮宿小：昇降口屋根改修工事（大東建設㈱）2,184,000 円、放送設備改修工事（朝日電化センター）1,207,500 円、調理室トイレ改修工事（㈱マルイチ）724,500 円
 大金庫を旧和合小から宮宿小学校へ移設 157,500 円
 西小体育館地震緊急速報システム（リコージャパン㈱）525,000 円

他、西五百川小学校・宮宿小学校・大谷小学校へ小規模修繕予算配当

4. 予算額・決算額

（単位：円）

予算額	17,881,000	決算額	16,451,721	差引額	1,429,279
-----	------------	-----	------------	-----	-----------

5. 事業の評価と課題

耐震関係については、平成 24 年度の西五百川小学校屋内運動場の改築を持って終了する。
 西五百川小学校校舎、宮宿小学校校舎は建築年が昭和 54 年と古く、老朽化が進み全面改修が必要となっている。

6. 事業の改善と方向性

西五百川小学校校舎、宮宿小学校校舎の改修については、年次計画を立て実施する。
 当面は、局部的な修繕を行いながら、安全・安心で快適な施設となるよう整備を行っていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	中学校整備事業費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	03	中学校費
	目	01	学校管理費

2. 事業の目的

事業の目的	安全で安心して授業が受けられる施設の整備
-------	----------------------

3. 事業の実施状況

修繕	パソコンデータ復旧 21,000 円、受水槽バルブ交換 235,200 円、校務用パソコン修理 21,000 円、職員室リモートマイク修理 52,500 円、教育用パソコン修理 14,070 円、消防設備修繕 31,100 円
委託料	特殊建築物定期報告業務（村山一級建築士事務所）73,500 円
工事	段差解消工事（㈱マルイチ）217,350 円、エアコン設置工事（東北電化工業㈱）1,495,200 円 階段昇降機設置及び撤去工事（㈱マルイチ 136,500 円、トイレ排水管修繕工事（㈱マルイチ）252,000 円

4. 予算額・決算額

（単位：円）

予算額	4,104,000	決算額	3,543,433	差引額	560,567
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価と課題

校舎、体育館は耐震工事が終了し、併せて内壁、外壁等主要な部分も大規模改修を行ったが、建築年が昭和 51 年と古く設備面を中心に老朽化が進んでいる。武道館は水まわりの改修は平成 24 年度で実施するが、屋根、外壁等の塗装・修繕が必要となっている。 グラウンドは社会解放を行っているが、屋外にトイレがなく周辺の方々に迷惑をかけている。屋外部活の部室が目の届かないところにあり、老朽化もしていることから改築をしていく必要がある。

6. 事業の改善と方向性

武道館は水まわりの改修は平成 24 年度で実施しますが、屋根、外壁等の塗装・修繕は年次計画を立て実施していく。 社会解放用のトイレ設置と、屋外部室の改築についても年次計画を立て整備する。 引き続き、安全・安心で快適な施設となるよう整備を行っていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	小学校建設事業費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	02	小学校費
	目	04	学校建設費

2. 事業の目的

事業の目的	安全で安心して授業が受けられる施設の整備
-------	----------------------

3. 事業の実施状況

- ・宮宿小学校屋内運動場改築関係
体育授業用スクールバス運行、職員駐車場借上げ、グラウンドピアノ運搬、落成式
- ・西小屋内運動場改築基本設計業務委託（㈱秦・伊藤設計 1,155,000 円）

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	367,490,000	決算額	2,568,936	差引額	364,921,064
-----	-------------	-----	-----------	-----	-------------

平成 24 年度へ繰越明許 363,145,000 円

5. 事業の評価と課題

学校関係者だけでなく地区民が熱望していた宮宿小学校屋内運動場が平成 22 年度繰越明許工事で完成した。平成 23 年度としての事業は、関連費用を計上し、粛々と落成式を挙行了した。

また、西五百川小学校屋内運動場については、国の補正予算が成立したことにより、計画を 1 年前倒しして平成 23 年度中に基本設計を実施した。年度末の予算計上となったことから実施設計及び工事関係を平成 24 年度に繰越明許した。

6. 事業の改善と方向性

西五百川小学校屋内運動場の改築が平成 24 年度に終了することから、平成 25 年度に本事務事業を廃止する。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	小学校教育振興費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	02	小学校費
	目	02	教育振興費

2. 事業の目的

事業の目的	教材の活用により分かりやすい授業が行われ、児童の学習意欲向上を図る。
-------	------------------------------------

3. 事業の実施状況

小学校 3、児童数 327 人【22 クラス（内特支 4 クラス）】 ・学力向上（特色ある学校づくりを含む）を各校に委託 委託費 各校 280,000 円 ・学習指導要領改訂に伴う指導書の購入 2,752,208 円 ・小体連陸上（5/18）・水泳記録会（7/8） ・海の子山の子交流事業 大谷小学校⇄宮城県七ヶ浜町立亦楽小学校 10/15 山の集い（朝日町） ・各校の教材備品及び一般備品の購入 2,810,202 円 ・芸術鑑賞事業補助 250,000 円 ・準要保護対象者 10 人、特殊教育奨励該当者 6 人 ・特別支援学校通学者への支援（生活支援経費として）2 人 ・学習生活指導補助員（宮小 2 人、西小 1 人）を配置

4. 予算額・決算額

（単位：円）

予算額	15,592,000	決算額	12,930,161	差引額	2,661,839
-----	------------	-----	------------	-----	-----------

5. 事業の評価と課題

学習指導要領の改訂に伴い、各学校に指導書を購入した。 読書活動の推進を図るため、図書のデータ管理を全小学校で終了している。今後はその管理と活用を適切に行っていく必要がある。 学習生活指導補助員を宮宿小学校に 2 人、西五百川小学校に 1 人配置し、きめ細かな学習指導を行った。

6. 事業の改善と方向性

引き続き学習生活指導補助員を配置し、一人ひとりの特性に対応していく。 本の好きな子どもを増やすための施策を、子ども読書活動推進計画の中に盛り込んでいく。
--

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	中学校教育振興費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	03	中学校費
	目	02	教育振興費

2. 事業の目的

事業の目的	教材の活用により分かりやすい授業が行われ、児童の学習意欲向上を図る。
-------	------------------------------------

3. 事業の実施状況

朝日中学校 生徒数 203 人【9 クラス（内特支 1 クラス）】 ・学力向上（特色ある学校づくりを含めて）委託 660,000 円 ・教材備品及び一般備品の購入 1,707,427 円 ・県大会・東北大会派遣、部活動補助 1,015,000 円 ・芸術鑑賞事業補助金額 180,000 円 ・準要保護対象者 7 人、特殊教育奨励該当者 1 人 ・学習生活指導補助員（町費 2 人）の配置
--

4. 予算額・決算額

（単位：円）

予算額	9,498,000	決算額	7,291,792	差引額	2,206,208
-----	-----------	-----	-----------	-----	-----------

5. 事業の評価と課題

中学校の上には高校や大学の進学が待っており、不登校や保健室登校といわれる子どもたちを一人でも減らしていかなければならない。 学習生活指導補助員を 2 人配置し、きめ細かな学習指導を行った。
--

6. 事業の改善と方向性

引き続き学習生活指導補助員の配置をしていく。 学習指導要領の改訂に伴い、指導書の予算を確保した。特に英語教育の向上のため DVD の予算化を行った。 不登校等の子どもたちには県のスクールカウンセラー事業をとおして、一刻も早い学校生活への復帰を促していく。
--

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	英語指導助手招致事業
-------	------------

予算 科目	款	10	教育費
	項	03	中学校費
	目	02	教育振興費

2. 事業の目的

事業の目的	小学校における国際理解と英語力の向上 中学校における英語教育（コミュニケーション能力）の充実
-------	---

3. 事業の実施状況

- ・平成 23 年度から小学校学習指導要領が改訂、平成 24 年度から中学校指導要領が改訂された。理数系のほか語学が強化され、特に小学校 5・6 年は必修領域英語活動となった。従来の J E T 利用の A L T では不安要素が大きく、町単独でモラ・マーティの招致を行っている。期間は平成 25 年 7 月まで。
- ・モラ・マーティはハロウィンパーティーを企画実施し、国際交流の進展にも寄与している。

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	4,795,000	決算額	4,639,318	差引額	155,682
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価と課題

モラ・マーティの日本語能力が素晴らしく、適切な指導が行われている。子どもたちにも人気があり日本の風土にもなじんでいる。

6. 事業の改善と方向性

平成 25 年 7 月までは現体制で実施。その後についても継続を検討していく。なお、J E T や他の事業なども検討していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	小学校給食費
-------	--------

予算 科目	款	10	教育費
	項	02	小学校費
	目	03	学校給食費

2. 事業の目的

事業の目的	バランスのとれた安全で安心な学校給食を提供し、健やかな子どもを育てる。
-------	-------------------------------------

3. 事業の実施状況

- ・自校炊飯を全校で実施 年間 180 日～190 日 給食の食材は保護者負担 1 食 265 円
- ・週 4 回米飯、1 回パンまたは麺類
- ・献立作成会議 4 ヶ月に 1 回開催
- ・町独自の調理師資質向上研修会 2 回開催(調理師全員参加)
- ・地産地消を目指し毎月 19 日をふるさと給食の日と定め地元の野菜や果物、農産加工品を提供した。

経費は、光熱水費、調理師代行、検査委託費等である。

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	3,390,000	決算額	3,005,211	差引額	384,789
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価と課題

1 件の事故もなく、バランスのとれた給食を提供した。
行財政改革では学校給食の民間委託の方針が決定されているが、十分な準備と協議が必要である。

6. 事業の改善と方向性

当面は直営での給食を行っていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	中学校給食費
-------	--------

予算 科目	款	10	教育費
	項	03	中学校費
	目	03	学校給食費

2. 事業の目的

事業の目的	バランスのとれた安全で安心な学校給食を提供し、健やかな子どもを育てる。
-------	-------------------------------------

3. 事業の実施状況

・(有)地球耕望に副食給食を委託 9,501,450 円
・給食の食材は保護者負担 食材 1 食 210 円

経費は、調理の委託費用である。

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	9,685,000	決算額	9,523,293	差引額	161,707
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価と課題

1 件の事故もなく、バランスのとれた副食給食を提供した。
委託業者の(有)地球耕望が平成 24 年度いっぱい撤退の予定となっている。

6. 事業の改善と方向性

直営の給食は設備がないのでできません。数ある選択肢の中から最善の形を決定していく。
将来的には、小学校の給食体系の検討に併せて中学校給食についても検討していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	社会教育総務費
-------	---------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	01	社会教育総務費

2. 事業の目的

事業の目的	生涯学習の振興を図る。
-------	-------------

3. 事業の実施状況

- ・社会教育委員 7 人（男 4 人、女 3 人）
- ・社会教育委員会の開催（5/19、3/23）
- ・山形県社会教育研究大会 10/28 8 名参加（酒田市）
- ・社会教育機関負担金支出(西視協、社教連、県社教大会、山響)
- ・社会教育団体活動補助金支出(子ども会連絡協議会 199,000 円・町連合婦人会 100,000 円)

4. 予算額・決算額

（単位：円）

予算額	956,000	決算額	847,920	差引額	108,080
-----	---------	-----	---------	-----	---------

5. 事業の評価と課題

社会教育委員会の開催、研修等は計画に沿って開催している。
社会教育委員会議の活発化が望まれている。

6. 事業の改善と方向性

優良自治体等の視察研修を行い社会教育委員会議の活発化を促す。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	文化財保護費
-------	--------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	01	社会教育総務費

2. 事業の目的

事業の目的	町の文化財を掘り起こし、地域の宝として、守り伝える態勢を整え活用を図る。
-------	--------------------------------------

3. 事業の実施状況

- ・委員 5人(5人以内)
- ・会議 (6/15、12/19)
- ・文化財保護委員文化財訪問調査・研修 (12/19)
- ・文化財修繕町補助金
 - 佐竹家住宅管理費、修理費補助 190,000 円
 - 水口十一面観音堂管理費補助 150,000 円
 - 八ツ沼獅子踊り用具衣装更新補助 264,000 円
- ・大沼の浮島整備 (護岸修復・実態調査等国庫補助事業 1,262,000 円、倒木処理 230,000 円)
- ・旧三中分校施設管理委託 (八ツ沼区) 100,000 円
- ・文化財保護調査 (ハッチョウトンボ)
- ・文化財保護長期計画の策定
- ・町文化財看板設置
 - 若宮寺鐘楼、旧三中分校校舎 997,500 円

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	3,779,000	決算額	3,486,642	差引額	292,358
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価と課題

大沼の浮島整備については、国と協議をし整備を進めている。町指定文化財については、所有者等と協議しながら保存整備を行っている。若宮寺鐘楼と旧三中分校校舎の案内看板を改修した。

旧三中分校の老朽化が激しく、白壁の一部剥落もある。地域の宝として保存整備と活用の検討が必要。

大沼浮島については、水量減少、水質低下、ナラ枯れ等が発生しており対策が必要。

6. 事業の改善と方向性

旧三中分校については、地域住民の意向を尊重しながら県文化財として指定を受ける方向で進める。

大沼浮島保存整備委員会を設置し、水量の減少等の原因を究明するとともに、問題を解決するため、保存整備計画を策定する。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	町史編さん費
-------	--------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	01	社会教育総務費

2. 事業の目的

事業の目的	町の歴史を正しく理解し、後世に伝える。
-------	---------------------

3. 事業の実施状況

・町史編さん専門員 2 人を配置 ・町史関係資料収集 ・文化財保護、民具の利活用等

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	2,798,000	決算額	2,724,448	差引額	73,552
-----	-----------	-----	-----------	-----	--------

5. 事業の評価と課題

町史編纂専門員 2 名の配置により、町史関係資料の収集が可能となっている。 町内の民俗文化財に対する調査が遅れており、伝承できる人や資料が減少する前に調査する必要がある。

6. 事業の改善と方向性

生活文化（民俗文化財）調査として、各集落における村祭りについて、聴き取りやアンケートによる調査を行う。
--

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	青少年健全育成推進事業費
-------	--------------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	01	社会教育総務費

2. 事業の目的

事業の目的	家庭、学校、地域が一体となった町全体の共通目標を掲げ、町民全体による子育てを推進する。
-------	---

3. 事業の実施状況

- ・青少年健全育成町民会議(委員 29 人)、
総会 7/13
青少年健全育成町民大会 7/26 200 人
講演「親子の絆～たった一言で変わった俺の人生！」
講師 魂のヴォーカリスト 杉山 裕太郎 氏
- ・青少年育成推進員活動(委員 7 人) 会議、青少年事業への活動補助
- ・青少年指導センター(委員 25 人) 街頭指導 12 回、研修会、会議

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	384,000	決算額	174,450	差引額	209,550
-----	---------	-----	---------	-----	---------

5. 事業の評価と課題

青少年の健全育成を推進する団体が協力し青少年健全育成町民大会を開催し、町民に青少年の健全育成についての共通目標を知らせることが出来た。
年々町民大会への参加者が減少しており、子育て世代の出席が少ない。
かつて社会問題化した「校内暴力」や「家庭内暴力」に代わり、「インターネットに係る犯罪」や「いじめ」といった問題が顕在化しており、態勢や事業等の検討が必要である。

6. 事業の改善と方向性

「青少年育成町民会議」のあり方や「青少年健全育成町民大会」の開催内容の見直しを検討する。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	自治公民館整備事業費
-------	------------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	02	中央公民館費

2. 事業の目的

事業の目的	生涯学習の振興を図る拠点施設である自治公民館の整備に助成する。
-------	---------------------------------

3. 事業の実施状況

水本公民館改修工事（屋根・外壁）
事業費 1,193 千円 補助金 477 千円

4. 予算額・決算額

（単位：円）

予算額	480,000	決算額	477,000	差引額	3,000
-----	---------	-----	---------	-----	-------

5. 事業の評価と課題

自治公民館の整備に関する相談に応じて支援している。
昭和の時代に建築された自治公民館が多くあり、改築や修繕の時期であるとともに、高齢化により大広間を1階に移すことやトイレの改修等高齢者の安全に利用し易い公民館への改修が望まれている。

6. 事業の改善と方向性

各地区公民の要望に対し、自治公民館建築事業補助金交付規程により計画的に支援を行う。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	中央公民館事業費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育総務費
	目	02	中央公民館費

2. 事業の目的

事業の目的	町民の教養の向上、健康の増進、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与する。
-------	--------------------------------------

3. 事業の実施状況

- ・中央兼中部公民館運営審議会 5/19、3/23
- ・家庭教育
中央公民館事業…やまがた子育て講座(西小 60 人、宮小 130 人、朝日中 390 人)、あさひ家庭教育学級(対象：あさひ保育園 4 回 750 人)
- ・青少年教育
中央公民館事業…寺子屋事業(調整を図ったが実施できず中止)、ボランティア育成(中学生…きらり・高校生…J O K E R : ふれあい育児体験、ふれあい荘夏祭等)、成人式：8/14(東日本大震災により延期)参加者 62 人
中部公民館事業…子ども会育成事業(第 20 回綱引き大会 3/20 287 人)、中部キッズクラブ(フードマイレージ買い物ゲーム 1 回 18 人、地産の食材を使った料理教室 2 回 45 人)
- ・女性教育
中央公民館事業…女性文化教室 11 教室 9 回、女性まつり 12/8 200 人、女性いきいき講座(町長と語ろう 5/15 70 人、町民いきいき学習会(公開学習) 1/29 226 人)
- ・成人教育
中央公民館事業…朝日町ふるさと歴史教室 5 回開催 受講生 26 人、朝日町子ども会育成会研修会 3/25、第 24 回生涯学習推進大会 2/26 330 人、英会話教室(マーティ先生の英会話教室(23 回 受講生 12 人))
- ・自治公民館
中央公民館事業…町自治公民館長・主事研修(高島町二井宿) 10/4 参加者 36 人、公民館報発行奨励金交付事業 14 館、自治公民館研修会等共催支援事業 2 館
中部公民館事業…自治公民館長・主事研修 7/14 40 人
- ・高齢者教育
中央公民館事業…高齢者大学代表者会議 2/22
中部公民館事業…寿大学(講話等 3 回、社会見学 1 回 399 人)
- ・視聴覚教育
中央公民館事業…西村山視聴覚教育協議会(巡回ビデオ貸出、巡回映写、教材コンクール)

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	2,025,000	決算額	1,124,523	差引額	900,477
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価と課題

常に時代や町民ニーズに合った事業展開を行うよう努めている。
町連合婦人会が 23 年度の総会をもって解散した。今後、新たな女性組織のあり方の調査・検討や育成・支援が必要である。

6. 事業の改善と方向性

各集落における女性組織の調査等を行い、「地縁組織」に加え、NPO やボランティア団体など「志縁組織」分野の新たな女性組織の支援を行う。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課西部公民館

事務事業名	西部公民館事業費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	03	西部公民館

2. 事業の目的

事業の目的	町民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与する。
-------	---

3. 事業の実施状況

- ・公民館運営審議会 (5/16、3/27)
- ・家庭教育…あさひ家庭教育学級（西部地区）1回 74人
- ・青少年教育…いもがわ少年教室 4回 60人、子ども会交流事業 2回 138人、青年教室 3回 90人、
- ・成年教育…成人講座「つながろう。～3.11を忘れない～」 1/29 約 70人、チャリティーグラウンドゴルフ大会 11/3 参加者 34人、自治公民館長主事研修会 6/19 37人、第18回西部地区スポーツフェスティバル 8/21 655人参加（ソフトボール、グラウンドゴルフ、インディアカ、ソフトバレーボール、輪投げ）、楽笑楽生こうざ（女性）7回 89人
- ・高齢者教育…高齢者教室（高砂大学）4回 154人、高齢者スポーツ交流（輪投げ） 2/23 参加者 52人
- ・第47回町芸術文化祭展示発表会 11/2～3 500人（来場者）
- ・「西部公民館だより」発行 5回
- ・西部区長会や子ども会育成協議会など8団体の事務局担当

4. 予算額・決算額

（単位：円）

予算額	429,000	決算額	418,114	差引額	10,886
-----	---------	-----	---------	-----	--------

5. 事業の評価と課題

「楽笑楽生こうざ」や高砂大学など、教養の向上の効果だけでなく、参加者同士の語らいが楽しいと好評を得ている。

高砂大学など、受講者による運営委員会を採用しているが、参加者の広がりの中で、運営委員会方式がいいのか検討の必要がある。なお、同じ方式の青年教室企画員については、平成23年度で解散。

6. 事業の改善と方向性

教室や講座の内容を見直しながらも継続していく。参加者の拡大方策の検討が必要である。
地区最大のイベント、スポーツフェスティバルは継続実施し地区民の交流を促進していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課北部公民館

事務事業名	北部公民館事業費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	04	北部公民館

2. 事業の目的

事業の目的	町民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与する。
-------	---

3. 事業の実施状況

- ・公民館運営審議会（6/17、3/14）
- ・家庭教育…あさひ家庭教育学級（北部地区）1回 74人
- ・青少年教育…ドキドキ探検隊 隊員 18人、達人クラブ 27人 里山探検、化石採り、カヌー、小朝日岳登山（夏）、冬キャンプ等 10回 延べ隊員 130人 延べ達人 90人参加、子ども育成会事業（交通安全教室・グラウンドゴルフ教室）2回 延べ 72人参加
- ・成年教育…女性教室「健康体操」 1回 45人参加、パソコン教室 2/21～2/24 4日間 15人参加、「蕎麦打ち教室」4回 8人参加、自治公民館長主事研修 28人、第7回北部地区レクリエーション大会 9/12（グラウンドゴルフ、バレーボール、ビーチボールバレー、輪投げ） 558人
- ・高齢者教育…睦大学 4回 321人
- ・第47回町芸術文化祭展示発表会 11/2～3 270人（来場者）

4. 予算額・決算額

（単位：円）

予算額	232,000	決算額	114,614	差引額	117,386
-----	---------	-----	---------	-----	---------

5. 事業の評価と課題

青少年の事業として、「ドキドキ探検隊」を行っている。野外活動がメインなので、活発な子ども達が集まっている。日頃できない体験が出来て毎年好評を得ており、参加者も減っていない状況である。

高齢者の事業として、「睦大学」を行っている。向学心や探究心も衰えず、会員同士の交流も申込みの要因になっているようである。

青少年と高齢者に重点を置いて事業展開しているが、婦人の組織がなくなっている為、婦人のサークルを立ち上げる支援を考える必要がある。

6. 事業の改善と方向性

幅広い年代層の要望に応じて事業展開は出来ない為、これからものを絞って事業展開しなければならない。北部地区レクリエーション大会は、各自治公民館が他の地区との交流の場として必要としている為、継続していかなければならない。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	創遊館管理費
-------	--------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	07	創遊館費

2. 事業の目的

事業の目的	町民が安全で利用しやすい施設の環境整備を図る。
-------	-------------------------

3. 事業の実施状況

・管理、各種設備、機器等の委託

夜間休日管理（シルバー人材センター）1,897,560 円、清掃業務（㈱山形ビルサービス）2,772,200 円、エレベーター点検（㈱エスコ）245,700 円、空調設備（弘栄設備工業㈱）1,522,500 円、ホール管理（ADAPT 今井信一）1,356,000 円、自動ドア（ナブコシステム㈱）113,400 円、舞台装置（カヤバシステムマシナリー㈱）472,500 円ほか

・修繕

エアコン屋外機修理 259,350 円、地下ピット内出水対応修理 148,365 円、非常灯バッテリー修繕 417,900 円ほか

・芝生広場の管理ほか

・創遊館の貸し出し 利用団体 1,301 件、利用人数 27,386 人

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	21,454,000	決算額	19,716,812	差引額	1,737,188
-----	------------	-----	------------	-----	-----------

5. 事業の評価と課題

創遊館の建設から 10 年以上を経過し、各機器等の不具合が出てきているため、修繕の緊急性の高いものから整備している。

地下ピット内の出水により空調機器の不具合を招く恐れがあるため、排水を行う必要がある。

屋根部分からの雨漏りが数か所発生しており対策が必要である。

電子機器の経年劣化による不具合が生じ始めている。

6. 事業の改善と方向性

地下ピット内の出水については、排水管付け替えとポンプの増設を行い効果の推移を見守る。

漏水については、設計者や施行業者による調査を依頼し、必要に応じて対策会議を開催する。

経年劣化による不具合箇所については、計画的に補修・修繕等を行う。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課西部公民館

事務事業名	西部公民館管理費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	03	西部公民館

2. 事業の目的

事業の目的	町民が安全で利用しやすい施設の環境整備を図る。
-------	-------------------------

3. 事業の実施状況

- ・西部公民館（平成 4 年 2 月完成）、健康増進センター（昭和 60 年 8 月完成）、西部地区総合運動場（グラウンド：昭和 62 年 3 月完成）、熊ノ山農村公園（見晴らしの丘：平成 15 年 3 月完成）、西部地区コミュニティ広場（旧公民館跡地：平成 7 年 11 月完成）の 5 施設の管理
- ・屋内施設：随時の清掃、維持
- ・屋外施設：芝刈りや除草等維持管理。雪囲いや庭木剪定を、シルバ人材センターに委託している。熊ノ山農村公園の芝生は、グラウンドゴルフを楽しむ地元愛好会の皆さんから草取り作業など奉仕活動いただいている。
- ・年間利用者：西部公民館 2,911 人、健康増進センター 3,901 人、西部地区総合運動場 2,587 人、熊ノ山農村公園 5,655 人、計 15,054 人

4. 予算額・決算額

（単位：円）

予算額	2,661,000	決算額	2,269,167	差引額	391,833
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価と課題

地区民や関係団体の自発的な奉仕活動による維持管理の協力を頂きながら、適切な管理業務を行った。
特に、施設の特徴となっている農村公園グラウンドゴルフ場の利用が多い。

6. 事業の改善と方向性

施設の老朽化に伴い、緊急性のあるものから計画的に改修整備し安全安心な利用しやすい環境をつくっていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課北部公民館

事務事業名	北部公民館管理費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	04	北部公民館

2. 事業の目的

事業の目的	町民が安全で利用しやすい施設の環境整備を図る。
-------	-------------------------

3. 事業の実施状況

- ・秋葉山交遊館・芝生広場（平成7年7月完成）、北部体育館（昭和54年3月完成）、大谷地区運動広場（昭和59年完成）
- ・屋内施設：随時の清掃、維持
- ・屋外施設：芝刈りや除草等維持管理。雪囲いや庭木剪定を、シルバ人材センターに委託（206,625円）している。
- ・利用者数：交遊館 5,917人、体験館 337人、多目的広場 3,404人、北部体育館 3,495人、秋葉山グラウンド 3,729人、合計 16,882人

4. 予算額・決算額

（単位：円）

予算額	4,379,000	決算額	3,680,317	差引額	698,683
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価と課題

施設の維持管理の協力として、地区民が自発的な奉仕作業を行っていただいている。
 休日の早朝など、除草後にグラウンドゴルフ等で施設を利用いただいている。
 木製の遊具やテニスコートなど、子ども達が放課後利用している。特にテニスコートは週1～2回程度、夜間の利用も出てきた。

6. 事業の改善と方向性

施設完成から18年目を迎え、老朽化が急激に加速している。春、秋に施設点検を実施し緊急性の高いものから修繕して、安全で利用しやすい施設を維持できるように努めたい。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	放課後子どもプラン事業費
-------	--------------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育総務費
	目	02	中央公民館費

2. 事業の目的

事業の目的	放課後の子ども達の安心安全な居場所づくりを行う。
-------	--------------------------

3. 事業の実施状況

放課後子ども教室推進事業の実施 きらきらスクール(宮小)コーディネーター1名配置 自由あそび 163日 きらきら教室 12回 のびのびスクール(西小)4回→西部公民館事業(いもがわ少年教室) どきどきスクール(大谷小)10回→北部公民館事業(ドキドキ探検隊)

4. 予算額・決算額

(単位:円)

予算額	1,293,000	決算額	1,220,389	差引額	72,611
-----	-----------	-----	-----------	-----	--------

5. 事業の評価と課題

放課後子ども教室推進事業については、宮小体育館の建築工事等あったが休むことなく活動を行うことが出来た。 週5日、2人態勢での見守りのため、見守り員の人数を20人以上で維持する必要がある。

6. 事業の改善と方向性

コーディネーターを中心に、見守り員の人数確保に向け周知・啓発活動を行う。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	協働のまちづくり推進プロジェクト
-------	------------------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育総務費
	目	02	中央公民館費

2. 事業の目的

事業の目的	自主的に活動する人材・団体を育成し、行政とともに地域づくり、まちづくりを推進し町民生活に寄与する
-------	--

3. 事業の実施状況

◆応募団体 3団体

- ・朝日グラウンドワーク研究会 代表 佐藤欣治（10人）
冬場のにぎわいの創出・・・神風船まつり（1月）参加者 300人
昔遊び体験・・・親子竹とんぼ飛ばし大会（3月）参加者 60人
- ・ツチャこい旅会議 代表 石井喜久男（9人）
町のPRの一つの手段として、恵まれた食材を活かした「秋の朝日町弁当」を企画。産業まつりの2日間で200食を販売し、あっという間に完売。消費者ニーズも探り、報告書としてまとめた。
- ・空気神社応援団 代表 後藤匡利（3人）
世界に唯一の空気神社を活かすことを目的に、魅力的な土産商品を考案し、知名度アップと交流人口の拡大につなげる。企画した土産商品の商品化について事業所等へ提案する。
考案品2品 「空気神社お願いプチプチ」、「ミニチュア空気神社お守り」

4. 予算額・決算額

（単位：円）

予算額	1,000,000	決算額	822,300	差引額	177,700
-----	-----------	-----	---------	-----	---------

5. 事業の評価と課題

新設の事業であったが、応募3団体に助成を行った。その中で空気神社応援団のグループで考案した商品は自然観のお土産として売り出されることとなった。また、朝日グラウンドワーク研究会は主催した神風船まつりには300人が参加するなど、町づくりに寄与する事業となった。

事業を活用した団体は、男性中心だったため、女性や若い人のグループを増やしたい。

はじめての事業でもあり、周知が不十分だった。

6. 事業の改善と方向性

事業の周知を図るため周知方法を工夫し、呼びかけや効果的なPRを行う。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	図書館費
-------	------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	05	図書館費

2. 事業の目的

事業の目的	町民が学習や生活に役立つ情報や知識を得ることができ、楽しい生活の場とするため図書館運営を行なう。
-------	--

3. 事業の実施状況

・ 町立図書館管理運営 創遊会へ業務委託 3,276,000 円 (利用登録者 3,629 人、うち町外 410 人) ・ 1 日平均貸出 68 冊、1 日平均利用者数 22 人 ・ 図書資料収集…(蔵書数 37,414 冊/H23 末) ・ あさひまち図書館まつり 2011(実行委員会組織) 12/4 古本プレゼント 283 冊、12/10 クリスマス子どものつどい 90 人、12/11 クリスマスリースを作ろう 20 人、 12/18 人形劇「14ひきのひっこしだ」313 人 ・ 蔵書点検 11/15～19 ・ 移動図書事業 5 月～2 月 大谷小(9 回 月 2 回) 利用児童数 80 人 ・ 団体貸出 1 団体りんごっこクラブ (年 11 回) ・ ブックスタート事業(6 回) 絵本のプレゼント、絵本の読み聞かせ 42 人 ・ おはなし会事業 5 月～2 月(毎月第 2 土曜) 10 回 おはなし会「ぶなの実」と共催 ・ ブックテーマコーナー開設(毎月) 月毎に本の紹介 ・ 子育て支援コーナーの開設

4. 予算額・決算額

(単位: 円)

予算額	4,279,000	決算額	4,247,337	差引額	31,663
-----	-----------	-----	-----------	-----	--------

5. 事業の評価と課題

図書館の利用者数を増やしていくため、毎月ブックテーマの設定、おはなし会、図書館まつり等を行っている。また、幼児期から本に親しんでもらうためのブックスタートでの絵本の贈呈等、地道な活動を行っている。図書館利用の促進については、選本等の吟味・工夫が必要である。

6. 事業の改善と方向性

図書館の利用促進のため、新刊の選本の吟味と夏休み等の子ども達の図書館利用に工夫を凝らす。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	文化振興費
-------	-------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	06	文化振興費

2. 事業の目的

事業の目的	地域を活かした朝日町らしい芸術文化活動を高める。
-------	--------------------------

3. 事業の実施状況

- ・第47回芸術文化祭
町芸術文化協議会支援(38団体、3個人)
11/2～3 第47回芸術文化祭
11/2 移動芸能発表(下芦沢公)
- ・創遊館ホール事業
1/14 柴田三兄妹三味線コンサート
- ・創遊館展示 (ギャラリー)
教科書展示(6/1～13)、岩崎孝彦「旅のスケッチ展」国内編(7/1～31)、朝日町土器展(9/7～29)、松山町・朝日町関係
地図展(10/4～27)、十人展(11/2～13)、女性文化教室パッチワーク教室、エコミュージアム協会・阿部幸作写真展(12/20
～1/29)、エコミュージアム協会「朝日町から見える大朝日岳ビューポイント 33」写真展(2/5～26)、神風船展示(2/1～
29)、町内小中学校書初め優秀作品・各種大会入選作品展示 (2/23～3/11)
- ・オペラの町づくり事業 実施できず。

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	1,743,000	決算額	1,532,850	差引額	210,150
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価と課題

ホール事業として、「柴田三兄妹三味線コンサート」を行い、好評を得た。
オペラの町づくり事業については、諸事情により事業を開催することができなかった。
ホール事業の運営については、単年度での運営が難しいため「チケット販売、アーティストの依頼時期、ニ
ーズ把握」等を町民参画で検討する必要がある。

6. 事業の改善と方向性

ホール事業の運営に関して、類似施設の運営方法等について調査研究を行うと共に、ホール事業の望ましい
あり方について検討する。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	保健体育総務費
-------	---------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	保健体育費
	目	01	保健体育総務費

2. 事業の目的

事業の目的	町民が生涯スポーツ活動に取り組める。
-------	--------------------

3. 事業の実施状況

- ・ 体育指導委員活動(委員 8 人)
- ・ 町民登山、町民グラウンドゴルフ大会など町体育協会主催各種大会への支援
- ・ 第 28 回アップル町民駅伝
12 チーム、中沢玉ノ井チームの初優勝
- ・ 県縦断駅伝ほか各駅伝競走大会の支援、ジュニア駅伝バス借上げ ほか
- ・ 各種スポーツ大会開催等の情報提供

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	2,389,000	決算額	1,980,422	差引額	408,578
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価と課題

町民が生涯スポーツ活動に取り組める環境を整えるため、体育指導委員を配置し体協主催の各種大会、スポーツ活動、総合型地域スポーツクラブ運営支援を行い、町民一人 1 スポーツ、生涯スポーツの町づくりに取り組んだ。

6. 事業の改善と方向性

一人 1 スポーツ、生涯スポーツで健康な人づくりを目指した取り組みを継続して行う。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	体育施設管理費
-------	---------

予算 科目	款	10	教育費
	項	05	保健体育費
	目	02	体育施設費

2. 事業の目的

事業の目的	町民が利用しやすい施設運営をする。
-------	-------------------

3. 事業の実施状況

- ・町民体育館の管理委託（朝日町シルバー人材センター）1,520,188 円
利用人数 7,244 人
- ・緑が丘公園町民プール（東京美装興業㈱）1,543,500 円
利用数 1,861 人
- ・夜間照明等（管理業務委嘱）
中学校及び社会人利用
- ・施設維持の工事や修繕
町民体育館照明改修 252,000 円、町民体育館漏水処理 325,500 円 ほか

4. 予算額・決算額

（単位：円）

予算額	8,412,000	決算額	7,455,683	差引額	956,317
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価と課題

町民のスポーツ活動に寄与することができた。
町民体育館は老朽化が進んでおり修繕が必要となっている。また、40年代の建築であり耐震診断を行った。
町民プール（50m）の今後のあり方や修繕の検討が必要である。

6. 事業の改善と方向性

町民体育館の耐震工事とともに給水管等の改修工事を実施する。
町民プール（50m）の中学校授業での利用が開始されるため、大規模改修を行う。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	スポーツ振興基金運営費
-------	-------------

予算 科目	款	10	教育費
	項	05	保健体育費
	目	03	スポーツ振興基金運営費

2. 事業の目的

事業の 目的	町民の自主的なスポーツ活動を支援する。
-----------	---------------------

3. 事業の実施状況

○基金の運用状況

22年度末現在高 22,563 千円

23年度取崩し額 1,500 千円

23年度末現在高 21,063 千円

- ・全国大会に出場する競技成績優秀者への激励金の交付(個人 17 件、団体 5 件) 430,000 円
- ・アップル町民駅伝競走大会出場チームへの支援 300,000 円
- ・町体育協会への各種スポーツ大会の運営委託 850,000 円
- ・総合型地域スポーツクラブ（朝日ふれあいスポーツクラブ）運営支援 補助金 1,072,882 円
- ・スポーツ少年団の育成 補助金 180,000 円

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	3,167,000	決算額	2,837,282	差引額	329,718
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価と課題

各種スポーツ団体への支援と、各種大会運営に対する支援を行い、町民のスポーツ振興に努めることが出来た。
朝日ふれあいスポーツクラブの自立に向けた育成と支援が必要である。

6. 事業の改善と方向性

朝日ふれあいスポーツクラブの自立に向け、toto（スポーツ振興くじ）の助成申請に向け準備を行う。

朝日町教育委員会事務事業点検・評価報告書（平成 23 年度分）
平成 24 年 8 月

朝日町教育委員会 教育文化課
〒990-1442
山形県西村山郡朝日町大字宮宿 2265 番地
TEL 0237-67-2118・3302
FAX 0237-67-3375
Email kyoiku@town.asahi.yamagata.jp
kanri@town.asahi.yamagata.jp
